

びわ湖トラスト親子環境学習講座

～きのご自然観察会～報告書



認定 NPO 法人 びわ湖トラスト

- 実施日 : 10月19日(土)
- 助成 : 公益財団法人 平和堂財団
- 後援 : 巨木と水源の郷をまもる会 ・ 大津市教育委員会
- 目的 : 琵琶湖及びその周辺で、親子で環境学習を行い、直接触れることで、参加者に琵琶湖への環境について興味を持つ機会を設け、保全につなげる。

場所	滋賀県高島市朽木 源流の駅 山帰来 と その周辺山林	
参加者	20名 (大人 10名 ・ 子ども 10名)	
講師	岩瀬 剛二先生 (一般社団法人 森林緑地菌類研究所 代表理事)	
スタッフ	びわ湖トラスト	理事 1名 ボランティア 1名 事務局 1名
行程	9:45	源流の駅 山帰来に集合
	10:00～	オリエンテーション 山へ移動
	10:10～10:45	山できのご採取
	10:45～	山帰来へ移動
	11:15～	源流の森 山帰来で昼食
	12:15～	とち餅を食べてみよう!
	12:30～	採取したきのごを分類仕分けし、観察と解説
	13:20～	とち餅の作り方講座 ・ きのご基礎講座 ・ 質疑応答など
14:20～	集合写真 ・ アンケート	
14:45～	解散・帰路へ	

びわ湖トラスト主催で今年初めて「きのご自然観察会」を行った。好天には恵まれず、雨模様での観察会。一週間前からの雨の予報で、ずれるか外れるかを期待していたが、見事雨天決行でした。今回のイベントの後援である「巨木と水源の郷をまもる会」から前日に、残念だけど、山に入らず室内での座学にしてはと提案され、講師の先生に了解を得、そのような運びとした。参加者の皆様には、きのご採取を行わない旨を説明し、それでも来ていただけるかどうかの確認をさせていただいた。

山帰来に集合した時点で、結構な雨降り。到着するなり、講師の岩瀬先生は、「どうする？どうする？小降りなので山に行きませんか？」とのお誘い。参加者が到着する直前までは、どしゃ降りだったそうで、私から見れば、その時点でもすごい振りだと思えたが、参加者の皆さんにお聞きすると、山に行きたいとの声が多数。結局山に行くことになった。前日に座学にするお伝えし、そのつもりで軽装で来られた方には、本当に申し訳なく思っています。自家用車・バスで少し移動し、きのごの山に入る。ことのほかたくさんきのごに出会えた。子どもたちはもちろん大人も「ここにも、ここにも」と、きのごを袋に採取されていた。



とりあえず、気になる「きのこ」をポリ袋に入れ、つぶさないように持って帰る。雨の中、時間を短縮にしてのきのこ採取だったが、みんなが夢中になり、名残惜しそうに車やバスに乗り込み移動。

雨が原因なのかどうか、その日はヤマビルも多く出現し、たくさんの方の衣服や靴にくっついていて、初めて見る方も多く、靴やズボンに付いていたりして、バスの中は大騒ぎ！

予定を一部変更し、山帰来で先に昼食をとり、そして座学会場である隣接する針畑ルネッサンスセンターの研修室に移り、とち餅を頂いた。あんこときな粉をまぶしたお餅はとてもおいしい。

とち餅を提供して下さった「巨木と水源の郷をまもる会」の代表 小松さんからとち餅の作り方の説明をされた。9月ころにトチノキの実収穫し、水につけて乾燥させ、また熱湯につけてあく抜き、流水で何日も流すなど、何十行程もの手間をかけて作られたものだった。やっと口にすることが出来るのは12月ころだそう。これは、米など食べる物が不作の時の保存食だと聞いたことがある。そんな貴重なとち餅を味わっていただいた。



本来、天気の良い時は、外に新聞紙を敷いて、きのこを並べるのであるが、今回は室内で、テーブルの上に新聞紙を敷いて、きのこを並べた。雨で傷んだり、押しつぶされてしまったものではなく、きれいなきのこを並べる。岩瀬先生がそれを菌根菌(植物の根に付く菌、マツタケ、テングダケなど)と、腐生菌(植物(落ち葉や腐った木につく菌)や動物などの死骸などを分解する菌、シイタケ・ブナシメジ・ナメコなど)に仕分けされた。



今回採取されたのは、イタチタケ、ホコリタケ、ハツタケ、ニガクリタケ、ヒロヒダタケ、ツルタケ、シロオニタケ、ワサビカレバタケ、チョウジチチタケ、エセオリミキ等々たくさんのきのこに出会うことができた。ベニタケ類も出現していたようだが、雨の為、色が抜けていたりして、種を固定できないようだった。



面白かったのは「ホコリタケ」。丸い傘の部分をプツと押せば、シュッとほこりが舞うような胞子が飛び出す。何回も押ししたりする子どもたちも楽しそうだった。

参加者はお決まりに「食べられるかどうか」の質問が多かった。先生は「食べても良いけど、お腹を壊すか、明日目覚めるかどうか・・・」など、冗談かどうか怖いお話をおもしろく分かりやすく教えていただいた。きのこ採取も楽しかったのですが、先生のお話がとても楽しくて、きのこに興味を持つ子どもさんが増えたのではないのでしょうか。

今年、びわ湖トラストとして初めてのきのこ自然観察会でした。雨天決行という波乱含みのイベントでしたが、アンケートには、自然に触れて、森のこと、きのこやトチノキにも興味を持たれたご家族が多く、親子で楽しんでいたようで良かったです。

